

講義名	公務員特別演習				授業形態	
担当教員	三原 裕子 / 河辺 有希生		開講期・曜日・時限		後期 火曜日 2時限	
			単位数	2	履修開始年次	2年生
主題と概要						
【目的】 公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、1年後期（演習 ）から4年前期（演習 ）まで一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。つまり公務員試験には、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められているのだ（まさに本学が掲げる「ネアカのびのび へこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。 【内容】 2年後期の公務員特別演習 は公務員研究を意識した授業を展開する。 自らの希望職種について、その仕事内容や直面する課題等を幅広く調べ、学期末レポートにまとめて提出する。 そのレポートを作成するための準備として、公務員による講話、内定者交流会、街づくりの模擬体験等を行う。 【意義】 本演習は、公務員を目指す受講生が自らの「夢の種」を育てることをサポートし、そして、受講生が「ネアカのびのび へこたれず」の精神をもった人材へと成長することを後押しするところに大きな意義がある。						
到達目標						
- 希望する公務員について理解を深め、「なりたい自分」を目指した効果的な試験対策を進めることができるようになる。 - 授業を通じて、主体的に考え、仲間と協力して行動する習慣を身につけられると同時に、文書作成、プレゼンテーションができるようになる。 - 公務員試験や民間企業採用時に求められる「教養問題」の基礎を習得できるようになる。						
提出課題						
各回での振り返りをまとめたレポートや、学期末レポート、クラス内でのプレゼンテーションを実施する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
クラス内で発表を行った際に、担当教員、クラスのアシ生、外部講師からフィードバックが行われる。						
評価の基準						
以下の2点を加算して評価する。 (1)授業内で提示されたレポートおよびプレゼンテーション（60％） (2)受講態度（授業内での取り組みや発言等）（40％） 授業内容が変更された場合、(1)、(2)の評価のウェイトが変更されます。変更される場合は、授業中に詳しく説明を行います。						
履修にあたっての注意・助言他						
- 本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。 - 少人数の演習形式を目指している。全員参加を基本とする（理由なく遅刻・欠席しないこと）。 - 本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。 - 学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校の受講（ダブルスクール）も強くお勧めする。 「基礎技能B」以外の関連する正課授業も、順次、履修することが望ましい。 （共通）法学入門、経済学入門、政治学、財政学、地域まちづくり概論、業界研究（官公庁）（行政職）民法A・B、憲法、行政学、地方行政論、地方財政論、経済政策、ミクロ経済、マクロ経済						
教科書						
参考図書						

その他	
・公務員特別演習 （2年前期）で使用した教科書（公務員試験の教科書 論文・作文本 令和7年度受験（公務員試験 教養試験対策）を本演習でも使用する（予定）。	
授業計画	
1 ガイダンス ＜予習120分＞公務員特別演習 の授業を見直し、各自の目標・課題を確認する ＜復習120分＞授業の目的を理解し、 とえられたテーマについてまとめる 2 前期公務員試験の動向 ＜予習120分＞希望する公務員試験について調べる ＜復習120分＞あたらしい情報を加え、試験内容についてまとめるとともに、現在の課題を書き出す 3 公務員による講話（兵庫県職員 予定） ＜予習120分＞行政職の職種、仕事内容、職責について調べる ＜復習120分＞講話の中で理解したこと、新たな知見や視点についてまとめる 4 教養的基礎 ＜予習120分＞指示された教養試験の範囲を問題集で直しをする ＜復習120分＞講義で学習項目を解けるまで復習し、さらに演習問題を解く 5 教養的基礎 ＜予習120分＞指示された教養試験の範囲を問題集で直しをする ＜復習120分＞講義で学習項目を解けるまで復習し、さらに演習問題を解く 6 街づくりを模擬体験してみよう 教科書輪読！ ＜予習120分＞事前に配布した資料を読んでおく ＜復習120分＞街づくりについて必要な事柄、解決すべき諸問題について、第6回の授業内容に関連させてまとめる 7 街づくりを模擬体験してみよう 教科書輪読！ ＜予習120分＞事前に配布した資料を読んでおく ＜復習120分＞街づくりについて必要な事柄、解決すべき諸問題について、第7回の授業内容に関連させてまとめる 8 実務者講話（警察官・国家公務員 予定） ＜予習120分＞公安職の職種、仕事内容、職責について調べる ＜復習120分＞講話の中で理解したこと、新たな知見や視点についてまとめる 9 街づくりを模擬体験してみよう ＜予習120分＞事前に配布した資料を読みゲームの手順等について理解しておく ＜復習120分＞第9回目の模擬体験を通じて明らかになった課題について整理する 10 街づくりを模擬体験してみよう ＜予習120分＞事前に配布した資料を読みゲームの手順等について理解しておく ＜復習120分＞第10回目の模擬体験を通じて明らかになった課題について整理する 11 街づくりを模擬体験してみよう ＜予習120分＞第9回、第10回の模擬体験で明らかになった課題を整理し、街づくりのための政策提言として自身の意見をまとめる ＜復習120分＞街づくりの模擬体験を振り返り、街づくりについて必要な事柄、解決すべき諸問題を改めて整理する 12 内定者交流会（教員・河辺 有希生） ＜予習120分＞各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする ＜復習120分＞内定者の講演から、自分の計画や学習内容、面接に対する心構えなど補うべき点・課題を明らかにする 13 教養演習、自治体研究 ＜予習120分＞各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする。これまでの学習を元に各自、自治体の課題について調べる。 ＜復習120分＞教養演習の内容を解けるまで復習する。自治体研究の授業を振り返り、課題を深め政策提言として自身の意見をまとめる。 14 教養演習、自治体研究 ＜予習120分＞各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする。これまでの学習を元に各自、自治体の課題について調べる。 ＜復習120分＞教養演習の内容を解けるまで復習する。自治体研究の授業を振り返り、課題を深め政策提言として自身の意見をまとめる。 15 レポート・振り返り ＜予習120分＞これまでの授業を振り返り、学習できこと、不十分な点を明らかにしておく ＜復習120分＞目指す公務員職（行政・公安）を明確にし、目標に向けての課題と学習計画を立てる	
*スケジュール、内容は変更の可能性があります。	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
※：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。 【応用科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】 「ネアカのびのび」こたれず」の精神をもった人材 知識を知恵に転換することができる。論理的思考力を持った人材 創造力 新しい視点と豊かな発想 を持った人材 自主・自立の精神を持った人材 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材 「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
備考	
授業計画は2024年度のをベースにしています。調整を行う中で計画が変更される場合があります。	